

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	レヴ RG	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.486	△RG	0.049	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール

フレアーの幅 インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

5 1/4 インチ

研磨剤

番

比較対照ボール：ビックショット

フレアーの幅 インチ

表面加工

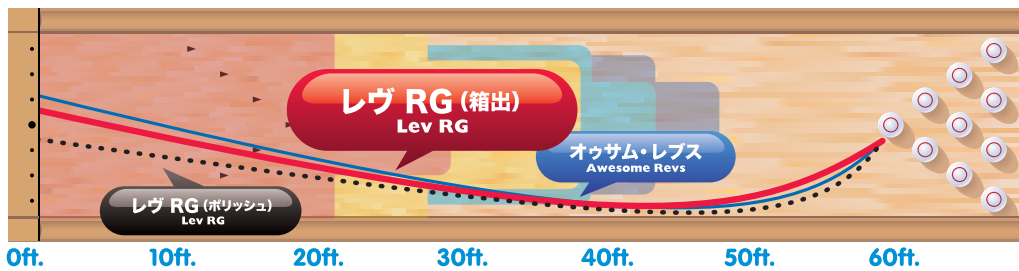
- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離

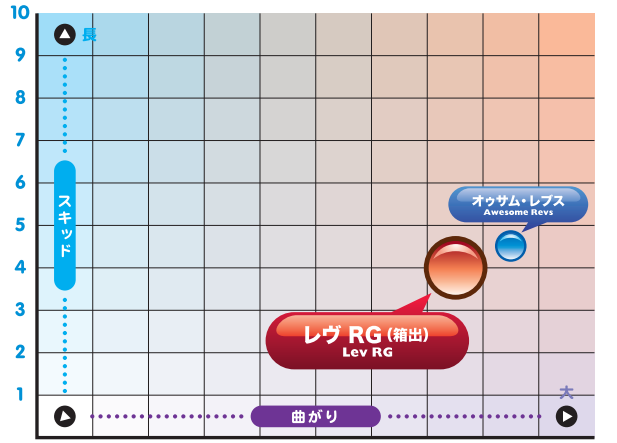
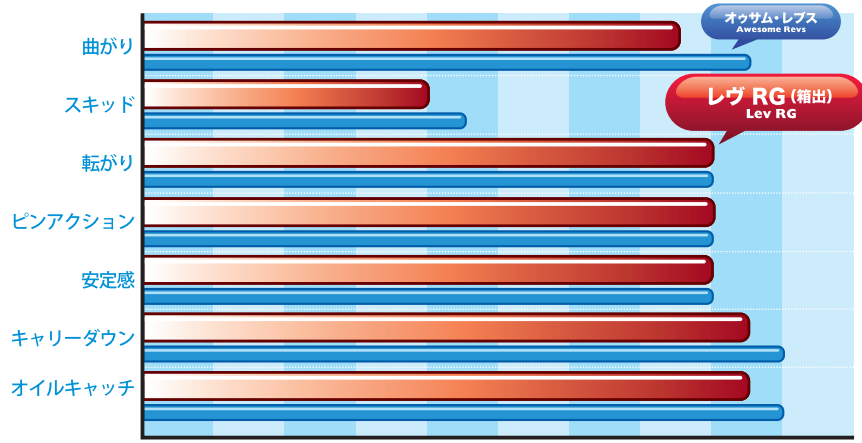
5 1/4 インチ

研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



ボールの評価

モーリッチ社は最先端のマスバイアス・コアを提供し続け、フリップブロックコア及びバンガードコアで一世を風靡致しました。今回、モーリッチ社の代表モー・ピネル氏はさらに進歩を遂げたニューコアを発表してきました。**最先端技術の結晶バンガードコアを原型にその体積を23%アップさせ上部に特殊なスタビライザーを搭載**しています。この新開発コアは現在発売されているどのボールよりも最も大きな非対称差 (0.033) を誇り、**スピントイム5秒を切るというコア自体が生み出す「ねじれ」効果を最大限に活かされるよう科学的に設計されています。**箱出しのマット状態での投球したイメージは、レーンを咬みながら緩やかに曲がり始め、最後まで終わらない強いトラクションを感じます。特にロール部分での動きが長く感じるためミッドエリアでの動き始めに安定感を感じました。そのボールをポリッシュしてのテストも行いましたが、**ポリッシュ状態のリアクションは全く正反対で、バックエンドでエネルギーを放出する、先での切れ幅はラベージシリーズを凌駕するほどの鋭い曲がりを得られます。**モー・ピネル氏曰く、体積アップのため中心を深くエグられて作られたこのコアは、RG・△RGの変更とドリルレイアウトでバンガードコアやフリップブロックコアのような曲がり自由自在とも言われています。モーリッチ伝説はマルチな性能を生み出すこのコアのレヴ RG から新たに始まります。

特記事項

モーリッチ・新コアのリアクションは自由自在。この最小限にロスを抑えたコアの性能を知るのは貴方です。